



(公財) しそ森林王国観光協会 提供

つなぐ棚田遺産

いいみ

しそうし

飯見の棚田（兵庫県宍粟市）

兵庫県の中西部に位置する宍粟市の山間部にある飯見の棚田は、「播磨風土記」に記されており、1300年前から米づくりがなされていた歴史と文化がある棚田地域と言われています。

平成2年に完了したほ場整備により、約1,100枚の田が171枚となって以後、遊休農地を出すことなく、効率的な米づくりが営まれています。

春には、水鏡が空を写し、夏には蛍、秋には紅葉とアキアカネ、冬の初めには朝霧による天空の棚田と四季を通じて豊かな風景を見ることができます。

◆◆ 主な内容 ◆◆

インフォメーション

- 令和5年度豊かなむらづくり全国表彰事業（近畿ブロック）受賞団体が決定！
【農政局からのお知らせ】
- 「近畿農業の概要」をリニューアルしました！
- 作物統計調査 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（近畿）
- 令和5年度 和食・食文化シンポジウムを開催します！
- 今月のお勧め BUZZMAFF となりの近畿～“農水省職員、初めて稲刈ってみた in那智勝浦町”をアップ～

トピックス

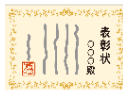
- # 食べるゼニッポンの専用ページを開設しました！

令和5年度

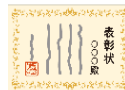
豊かなむらづくり全国表彰事業 (近畿ブロック) 受賞団体が決定!

農林水産省では、農山漁村における「むらづくり」の優良事例を表彰し、その業績を広く紹介することを通じて、農山漁村におけるむらづくりの全国的な展開に繋げていくために、毎年度、農林水産祭の一部門として「豊かなむらづくり全国表彰事業」を実施しています。

この度、令和5年度の農林水産大臣賞として、管内から2団体の受賞が決定しましたので、お知らせします。なお、表彰式については、後日実施する予定です。



農林水産大臣賞



大原里づくりトライアングル (京都府京都市)

飯見夢むら棚田の会 (兵庫県宍粟市)



【朝市】

【観光梅園づくり】

【オオムラサキの放蝶会】



【食味検査最高得点者表彰】

【虫おくり】

【棚田の維持管理】

【概要】

1 むらづくりの動機・背景

大原地域は、史跡・名勝と農村景観・環境を資源とする観光地だが、道路整備等による利便性の向上と引き換えに、地域の風情が薄らいだことで観光客数が減少していた。また、農業者の高齢化や後継者不足、水路等の老朽化、基盤整備や農地利用集積の遅れ、獣害の拡大などにより、農村景観の荒廃が課題となっていた。2006年、関係団体がそれぞれ実施していた朝市、土地改良施設の維持管理、水生生物調査等の資源保全活動を、地域一体的・網羅的に取り組むため、京都大原土地改良区を事務局とする大原里づくりトライアングル(以下「里トラ」という。)を設立した。

2 むらづくりの内容

里トラの構成員は、NPO法人京都大原里づくり協会等の非農家組織が半数を占めており、地域住民が一体で取り組んでいる。里トラは、2006年度に農地・水・環境保全向上対策のモデル事業として活動を始めて以来、

- (1) 老朽化が進む農業用排水路や農道などの補修・更新による農業用施設の長寿命化
- (2) 遊休農地を観光梅園へ再生することによる景観の向上
- (3) 農地や河川敷を侵食する雑竹林の伐採による景観や防災に寄与する活動
- (4) 京都市立大原小・中学校と連携した、水生生物調査やオオムラサキ(国蝶)の保護活動による環境保全意識の向上
- (5) 女性が活躍する料理コンクールの開催による食文化の継承
- (6) 農業者が店頭に立つ朝市を開催し、生産者の顔や生産物への思いなどを伝えながら販売することによる持続可能な農業の実現と地域コミュニティの活性化などに取り組む。

農業振興を超えた幅広い活動を計画的、段階的に進めており、地区内外から19名の新規就農があるなど、担い手の確保をはじめとする地域活性化に大きく寄与している。

【概要】

1 むらづくりの動機・背景

飯見地区は、兵庫県の中西部に位置する宍粟市の山間部にある。播磨風土記からは、約1,300年前から米作りされていたことがうかがえ、良質な湧水や寒暖差のある気候を活かした、棚田での水稻栽培が盛んに行われてきた。平成2年に完了したほ場整備により、約1,100枚の田が171枚となり、効率的な農業が可能となったが、一方で、米価の低迷に喘ぐ状況が続いていた。これを打破するため、平成17年に、規約の目的に「楽しい農業を目指す」とする飯見夢むら棚田の会(以下「棚田の会」という。)が発足した。

2 むらづくりの内容

農業者が約8割を占める本地区において、棚田の会は、自治会、農水環境全クラブ、子ども会、消防団など多様な団体と密に連携しながら、会員が望む「地域ぐるみ」で取り組む楽しい農業」を実践している。具体的には、

- (1) 農村環境を地域全員で守ることを目標に取り組むことで地域の団結力を強化
- (2) 環境創造型農業(有機肥料、減農薬)等により米のブランド化を図り、併せて、自ら米価を決定することによる所得の向上
- (3) 食味検査最高得点者表彰や最高収量者表彰等を行い、地区全体で楽しみながら栽培技術を向上
- (4) 中山間直接支払交付金等を活用した棚田の維持管理と農業用施設の長寿命化
- (5) 地域の祭りや「虫おくり」などの行事に参画・開催し、伝統文化の継承、環境保全意識の向上及び都市農村交流の場を創出することによる地域活性化
- (6) 「新米まつり」の開催や都市部でのPRにより、観光客や米の買い手の誘致による販売促進などに取り組む。

肩肘を張らずに、モチベーション高く楽しみながら行う様々な取組により、山間部の棚田という条件不利地において耕作放棄地が1筆もない状況となっている。また、先人から引き継がれた地域愛が、現在は非農家を含めた地域共通のものとなっている。棚田の会の取り組みは、移住やリターンしやすい雰囲気を作り出し、担い手が進んで引き継ぐ実態に繋がるなど、地域活性化に大きく寄与している。

【大原料理コンクール】

【ちりめん赤しそ】

【彼岸花移植】

【鯉つかみ】

【棚田風景】

【棚田に来る雉】



詳しくはこちら(近畿農政局ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/231011.html>



お問合せ先

近畿農政局 農村振興部農村計画課

担当者: 山口、長瀬

TEL: 075-414-9051

農政局からの お知らせ

統計情報

◆近畿農業の概要をリニューアルしました！

「近畿農業の概要」は、農林水産省が実施している統計調査や農林水産業に関する統計などの最新のデータを基に、近畿地域における農業の概要について紹介しているものです。
このほどデータ等内容をリニューアルしましたのでご活用ください。



データのダウンロードはこちらから
(近畿農政局ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/gaiyo/kinkigaiyo/saisin.html>



【お問合せ先】
統計部統計企画課
TEL：075-414-9620

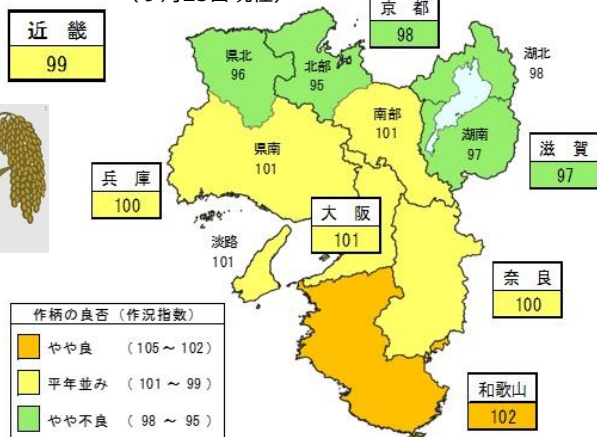
◆作物統計調査 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（近畿）

- 近畿の作況指数は99（10a当たり予想収量503kg）の見込み -

調査結果

- 令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は99,300haで、前年産に比べ1,600haの減少が見込まれます。
うち主食用作付面積は9万1,200haで、前年産に比べ1,600haの減少が見込まれます。
- 9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は503kgで、前年産に比べ14kgの減少が見込まれます。
- 主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は45万7,900tで、前年産に比べ2万1,600tの減少が見込まれます。
- 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99が見込まれます。

図 水稻の府県別・作柄表示地帯別作況指数（9月25日現在）



詳しくはこちら
(近畿農政局ホームページ)
<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2023.html#y1013>

【お問合せ先】
統計部生産流通消費統計課
TEL：075-414-9650

◆令和5年度「和食・食文化シンポジウム」を開催します！

～醤油からみる関西の和食・食文化。

キーワードは醤油、

その歴史や和食の魅力について～

日時：令和5年11月30日(木) 13:30～16:00

場所：京都市国際交流会館 特別会議室

京都市左京区栗田口烏居町2番地の1

基調講演①：「食文化と木桶・木樽」

基調講演②：「関西の和食文化と醤油」

パネルディスカッション：「和食文化の保護・継承を進めるために ～醤油の魅力をさぐる～」

定員：会場参加50名、オンライン(Webex)100名
(どちらも事前申込み制、先着順)

申込方法：以下のURL、二次元バーコード、お電話にてお申込ください（参加無料）

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/wagohansemina231130.html>



【お問合せ先】

近畿農政局 経営・事業支援部食品企業課

担当者：森、勝田、福本

TEL：075-414-9024（お申込みはこちら）

◆今月のお勧め BUZZMAFFとなりの近畿

～“農水省職員、初めて稲刈ってみた in那智勝浦町”をアップ～

初出演！アオヤマンが大活躍

稲刈り楽しいで～

「となりの近畿」農水省職員、生まれて初めて稲刈りしてみたin那智勝浦町

近畿農政局

YouTubeで絶賛公開中！詳しくはこちらを見てね
(近畿農政局ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/video/b10.html>



#食べるぜ ニッポン!

の専用ページを開設しました!



～水産物消費応援の輪、広がっています。
引き続き御協力をお願いします。～



1. 「#食べるぜニッポン」キャンペーンとは

農林水産省は、水産物を応援するために、令和5年9月7日からSNSを中心に「#食べるぜニッポン」キャンペーンを行っています。

「#食べるぜニッポン」という共通のハッシュタグとロゴ画像を使い、水産物の写真を投稿していただきたいという呼びかけに、多くの皆様から御協力をいただいております。

2. 「#食べるぜニッポン」専用サイトの活用方法

この応援の輪をさらに広げていただくために、この度、農林水産省ウェブサイト専用ページを開設しました。

店舗やイベント会場などご利用いただけるような、ロゴやポスター等の広報資材をご用意しましたので、皆様の自由なアイデアで幅広くご活用いただければと思います。



空欄には店舗名や商品・メニュー名などを自由に記入して、ポスターやチラシ、POPとして利用していただきます。



詳しくはこちら

(農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/pr/social_media/taberuze.html



お問合せ先

農林水産省 大臣官房広報評価課広報室

広報企画班 : kouhoukikaku@maff.go.jp

TEL : 03-3502-5594

農林水産省近畿農政局

近畿農政局 HP →



企画調整室	〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)451-9161
滋賀県拠点	〒520-0044 大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎6F	TEL(077)522-4261
京都府拠点	〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)414-9015
大阪府拠点	〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館6F	TEL(06)6943-9691
兵庫県拠点	〒650-0024 神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎4F	TEL(078)331-9941
奈良県拠点	〒630-8113 奈良市法蓮町387 奈良第3地方合同庁舎3F	TEL(0742)32-1870
和歌山県拠点	〒640-8143 和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎5F	TEL(073)436-3831

近畿農政局
メールマガジン

